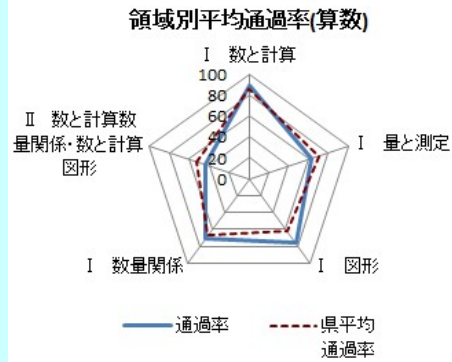
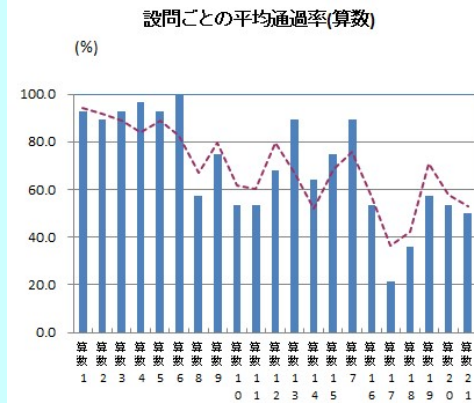


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 69.6%, 県 69.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○今年度の調査から明らかになった課題
 タイプⅠでは、「分数の意味と表し方 (57.1%)」、タイプⅡでは、「目的に応じた計算結果の見積もり (21.4%)」「事象の観察と情報の選択 (57.1%)」など、生活場面に結びつけて、様々な条件から、課題を解決するために必要な条件を考えたり選んだりすることに課題がある。また、算数的用語に対する理解が不十分なことが明らかになった。

重点課題

- 生活体験に基づき設定された問題等において、解決に必要な情報を抽出・選択する力が不十分である。
- 重要語句や算数的用語が十分に定着できていない。

標準学力調査に向けた重点取組

- 単元を通して実生活をもとにした課題発見・解決学習を行う。
- 問題を解決するために必要な技能（問題文への下線，書き込み，解決方法の選択）などを指導し切る。
- 重要語句や算数的用語の意味や活用する場面を理解させるために，書かせたり発表させたりする場を設定し，単元末に，単元内の重要語句や算数的用語の意味をまとめ，小テストなどで確認する。
- のびのびタイムを活用し，児童一人一人のつまづきを把握する。

取組計画表

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
校内研修等 (職員)	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で問題を解き，通過率の低かった問題の誤答分析を行う。 授業研究で明確になった課題を全職員で共有し，授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を行い，2学期から全職員で取り組む内容を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主公開研究会を行う。 (提案授業→協議) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業研を行う。 (授業提案→協議) 	<ul style="list-style-type: none"> 学期末テストの分析を行い，重点指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力テスト実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力テストの分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度に向けての計画を立てる。
児童への取組	用語確認小テスト (単元末) のびのびタイム (児童一人一人のつまづきや課題に応じた学習)							
						【検証】標準学力調査 目標値 市平均以上の児童 80%以上		